

国際交流員ダニエルの

KANGA KOURYUU

カンガ交流



スコットランドのスポーツ

昨年のラグビーワールドカップでは、日本はもちろん私の母国オーストラリアでも大変な盛り上がりを見せました。ラグビーの発祥はイギリスで、イギリスを構成する国のひとつであるスコットランドはラグビーで日本と白熱した戦いをしましたね。そんなスコットランドの伝統的なスポーツを紹介します。

The Ba' Game —ザ・バ・ゲーム—



（著作権者：Adrian Roebuck、ライセンス：CC BY-SA 3.0）

◀「Ba」で使われるボール

The Ba' Game(略称：Ba)はフットボール(ラグビー)と似たスポーツです。人数制限なしの二つのチームが対戦します。何百メートルも離れたゴールに、ゲームと同じ名前がついたボール「Ba」を蹴ったり、投げたり、持っ

て走ったりしてゴールを目指します。道具を使わないということ以外のルールはなく、プレイ時間も決まっていないため、ボールを奪い合うことに昼過ぎから日没まで時間を費やすことが多いそうです。

「Ba」は300年以上の歴史があり、遊び方やフィールドはだんだんと変わっていきました。昔は草原がフィールドでプレイのテンポも速かったそうですが、現在は場所を街中に移し、多くの参加者ともみくちやになりながらゲームを楽しみます。

The Kirkwall Ba' —カークウォール町の「Ba」—

毎年、「Kirkwall(カークウォール町)」はクリスマスと正月に「Ba」が開催されることで有名です。町の北側の出身者は「Doonies(ドゥーニーズ)」、南側の出身者は「Uppies(アップリーズ)」というチームに分かれます。

Kirkwallの「Ba」には毎回600人を超える参加があるとされています。そのため、ゲームの前日はフィールドになる道路や港などの邪魔になるものは片づけられ、お店や民家は窓やドアが壊されないように板を打ち付けます。準備が終わり、夜になると参加者

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Ta"

読み方 「ター」

意味 「ありがとう、どうも」

「Ta」は「Thanks」の意味で、オーストラリアでよく使われるカジュアルでフレンドリーなお礼をするときのスラングです。なぜ「Ta」になったのかは、2つの説があります。「Thanks」が省略されたという説と、古代の英語がルーツになっているという説です。買い物した後に店員さんから「Ta」と言われるくらい気軽に使われるので、ぜひ覚えてくださいね。

は酒場で飲みながら作戦などの打ち合わせをします。

当日のゲームは「Boy's Ba(男の子のバ)」と「Men's Ba(大人の男のバ)」の二種類が行われ、「Boy's Ba」は午前中にスタートします。なるべく「Men's Ba」の試合がスタートする前に、ゲームが終了するように奮闘しますが、「Boy's Ba」が終わっていても、午後1時になると町の中心の大聖堂の前に「Ba」が投げ

▶カークウォール町の「Ba」



（著作権者：Ian Balcombe、ライセンス：CC BY-SA 2.0）

入れられて「Men's Ba」が始まります。

メインストリートの突き当たりにある民家がUppiesのゴールで、Dooniesのゴールは港にあるため、Dooniesのメンバーは冷たい海に入って「Ba」を運ばなければなりません。

ゲームが終わると、勝ったチームからMVPが選出されます。MVPに選ばれた選手はゲームに使ったボールを賞品として受け取ります。

スコットランド発祥とされているスポーツは「ゴルフ」や「カーリング」などがあり、世界中の人に楽しまれています。私は「ゴルフ」が好きで、よくプレイしますが、「Ba」はプレイしたことがありません。いつか挑戦してみたいスポーツのひとつです。